
青い熱帯魚

mimimi

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

青い熱帯魚

【Nコード】

N4525H

【作者名】

m i m i m i

【あらすじ】

趣味の熱帯魚に没頭した勝ち組男の末路

田舎から都会に出て、街での仕事にも慣れ、愛する女性との結婚を控えたある男がいた。

彼の悩みといえは何故か最近毎晩不思議な熱帯魚の夢を見るくらいであった。

あまりに頻繁なので、ためしに小さな水槽で青い熱帯魚を飼ってみることにした。

思いのほか世話が楽しく、男は次々と自分の働いた金をつぎ込んで家中を水槽だらけにしていった。

男のと結婚を約束した女は、今まで趣味らしい趣味のなかった

男の熱帯魚へののめり込み具合にはじめは驚き、

家の中に増え続ける水槽の数に閉口しながらも、そんな趣味を受け入れていた。

男は熱帯魚の世話に一層のめり込んでいき、外に出たり女と会うことも少なくなっていくた。

そんなある晩久しぶりに女が男の家に遊びに行くと、男は家の内壁を青いペンキで塗りたくっており、

部屋には踏み場もないほど水槽が置かれており、世話の行き届かない水槽からは汚水があふれ出ていた。

男への怒りと言いようのない恐怖を感じた女はその場で男と別れて、そのときから男との連絡を断ってしまった。

男は結婚相手を失った失意から、仕事にも行かなくなるほど熱心に熱帯魚の世話にのめり込んでいった。

それから幾月か経ったある日、女は男の友人から、最近全く男の姿を見ないし連絡もつかない

ということを知る。心配になって女が男に電話すると電話は繋

がるが、
通話口から聞こえるのは水の流れる音だけだった。

いよいよ心配になって女がアパートに行き、男の部屋のドアを開けると、

家中の水道が出しっぱなしになっており、部屋は水に満ちていた。開いたドアから水が引き、女が中に入るとそこに男の姿は無く、あんなにたくさんいた熱帯魚も一匹もいなくなっていた。

更に奥へ進むと居間に一匹の大きな青い魚が床の上に打ち上げられていた。

女が恐る恐るその魚の顔を覗くと、その青い魚はあの男と同じ目をして
にやりと笑って死んでしまった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4525h/>

青い熱帯魚

2010年10月24日03時42分発行